

金賞

教えられた！！ 設備の真の美しさ

アイシン精機株式会社 刈谷工場 制動3課 33係 早川 雅直

私の職場には、総生産数の約6割を一手に請け負うモンスターマシンがあります。カム方式から、まるでからくりのように製品をつくりだす姿は、芸術的組付け機で職場の自慢の一台です。そんなマシンも、年々老朽化が進み、見た目にも古さが目立ってきました。私たちは、醜くなってきた所々をカバーで覆い、化粧に化粧を繰り返して美しさを維持することに必死でした。

ある日のこと、芸術的な動きが豹変！ 組付け不可能な事態に！ カムポジションがずれてしまったのです。その影響で、ユニットはあらゆる個所で、骨折！ 打撲！ 切創！ 重大な事態に陥ったのです。長時間故障と判断した私は、上司へ報告しました。総生産数の6割を占めるラインの長時間故障に、工場の保全マンが集結しました。即座に修理を開始、次々と化粧が剥がされ、瞬く間にすっぴんになった姿を見て、私はあ然とし放心状態となりました。カバーという化粧の中身は、落下部品の山！ 故障の原因も、この落下部品の噛込みだったのです。この光景を目の当たりにした全員からのあきれた視線が、私に突き刺さりました。「なんだあ！ 汚いところは隠してただけかあ！」「これで設備の異常がわかるのか！」「監督者がこんなレベルじゃ、設備がかわいそうだ！」そんな言葉が私に大きなショックを与えたのです。

みんなの努力のおかげで修理は完了。後工程への影響も最小限に抑えることができました。生産を始めた姿は、以前の面影はまったく失われ、拾い出された落下部品の山、無造作に垂れ下がった配線、それは想像を絶するものでした。立ちつくす私に、上司が「設備も人間と同じで、体調不良を表情や泣き声で訴えてるんや！ 診てやれ！ 聴いてやれ！」。その言葉を受け、私はそっと設備に近付いてみました。

微量ながらエアの漏れる音、動くたびにギンギンと痛がる音、骨折したままの配管、今まで化粧美人の時にはまったくわからなかった表情や泣き声を設備は訴えていたのです。私は、ギンギンと痛がる部分に、油を差してみました。すると、痛がる音がなくなり元気に動き出したのです。そんな姿に、今まで見た目だけの美しさにこだわって、化粧をし続けた自分が恥ずかしくなりました。古くてもすっぴんで美しく健康な動きをし続ける設備に、生まれ変えようと心に誓いました。

最初に、化粧の裏側の汚れを心で謝りながらいねいに拭き取り、清掃の基本から始めました。次に、健康を取り戻してもらうために、設備に耳を傾け泣き声を聴き、治療に入りました。エア配管の交換、給油、増締めを繰り返すうちに、どんどん泣き声がなくなっていくのがわかり、健康に生まれ変わる設備に、いつしか愛情がわいて喜びを感じる自分がいました。そして、無造作に垂れた配線の結束、関節の曲がりや、ずれから発生してい

た部品の落下には整体を施し、健康を取り戻したすっぴん美人が完成しました！ 化粧で着飾った以前より、健康ですっぴんの今の方が、華麗な組み付けを披露してくれています。この状態をいつまでも披露してもらうために、カルテを作成し、定期健診から病気の再発、発病を診察しています。

おかげで、ちょっとした設備の訴えにも診る目や聴く耳が養われ、故障を未然に防止することができるようになりました。今回の体験を絶やすことなく、みんなに伝えていきたいと思います。